

令和7年度 学校評価(児童生徒)

全児童生徒 n= 108 / 444 24.3
回答者数 児童生徒数 %

◎とても思う ○やや思う ▲そう思わない ×全く思わない

領域	No.	項目	評価内容	◎	○	▲	×	無回答	回答者数		%表示		無回答	帯グラフ (良好: ■ 要改善: ■ わからない: ■)
									◎○良好	▲×要改善	◎○良好	▲×要改善		
学校運営	1	学校運営	学校はたのしい。学校生活は充実している。	56	41	5	6	0	97	11	90	10	0	
	2	人権意識	先生は、よくほめてくれる。認めてくれる。	58	38	9	3	0	96	12	89	11	0	
教育活動・進路指導	3	教育活動	学習発表会、運動会、宿泊学習、修学旅行などの、学校行事はたのしい。	63	30	9	6	0	93	15	86	14	0	
	4	児童・生徒会	私は、係活動や日直、当番など児童会や生徒会活動に取り組んでいる。	57	37	10	4	0	94	14	87	13	0	
	5	学習指導	先生はわかりやすく勉強をおしえてくれる。	69	32	5	2	0	101	7	94	6	0	
	6	ICT活用	授業で、iPadやパソコンを使っている。	64	38	5	1	0	102	6	94	6	0	
	7	進路指導	先生は、私たちのこと、将来のことについて、よく考えてくれる。	70	28	5	4	0	98	9	91	8	0	
生徒指導	8	教育相談	先生は、悩みにや相談にのってくれる。	64	33	4	7	0	97	11	90	10	0	
	9	生徒指導	先生は、マナーやルールについて、おしえてくれる。	83	20	2	2	1	103	4	95	4	1	
	10	いじめ防止	先生は、学校の友達のことで、困ったときに助けてくれる。	71	26	7	4	0	97	11	90	10	0	
健康・安全	11	給食/食育	先生は、食事の大切さについて、おしえてくれる。	58	31	13	5	1	89	18	82	17	1	
	12	健康教育	先生は、健康な体をつくるために、どうすればよいか、おしえてくれる。	65	33	5	5	0	98	10	91	9	0	
	13	安全教育	先生は、地震や火事などのときの避難する方法や交通安全についておしえてくれる。	79	24	4	1	0	103	5	95	5	0	

所属学部(全児童生徒)

考 察	
80%以上	①全13項目において80%以上の良好な評価となった。また、9項目が90%以上となった。 ②No5「学習指導」、No6「ICT活用」について、教職員の学習指導の工夫によって児童生徒自身が「何を学んだか」、「何が分かるようになったか」実感している結果の表れと考察する。 ③No9「生徒指導」については、日々の指導・支援の成果として児童生徒がマナーやルールの大切さに対する意識が涵養されたと考察できる。 ④No13「安全教育」の項目についても、良好な評価結果となった。しかしながら、今後「安全に関する教育」の重要性が高まることを考慮すると、更なる指導・支援の充実に向けた取組の継続が必要である。
80%未満	該当項目無し。
その他考察	①全児童生徒444名に対して回答率が24.3%であった。前年度と比較しても回答率が低下した点については改善すべきである。今年度はQRコードによる回答に限定したが、次年度は回答方法の検討や学級、学部で学校評価に向けた時間設定をするなど、改善に向けた取組を検討する必要がある。(回答率⇒小学部:7.8% 中学部:7.8% 高等部:29.3% 美里分教室:91.7% センター分教室52.6%) ②全項目において80%以上の良好な評価結果となったが、評価詳細(◎とても思う、○やや思う)に着目すると、全項目において「◎とても思う」の割合が減っている点については注視し、次年度以降、改善がみられるよう教育活動全体を通して取り組む必要がある。 ③上記の②について、今年度の学校評価の実施期間が前年度よりも約1ヶ月前倒しになったことも影響しているのではないかと推測する。 ④No11「給食/食育」については、要改善(17%)項目として着目する必要がある。児童生徒の発達段階に応じ、教育活動を通じ、健康の保持増進のために望ましい食習慣が必要であるという意識を育てる取組が必要である。 ⑤今年度から実施した美咲プライドの成果が次年度、児童生徒自身が自らの成長として実感でき、各項目において評価として表れることを期待したい。